

白鷹の良さと人の温かさに触れる 教育旅行で千葉から中学生が訪問

毎年恒例となっている教育旅行。今年も千葉県八千代市立大和田中学校（5月19～20日）の生徒47人と、同勝田台中学校（5月29～30日）の生徒34人の計81人が、白鷹町を訪れました。

生徒たちは、中山や萩野、山口地区などの民泊先にかかれ、慣れない農作業や初めての山菜取り、伝統の紅花染めなどを体験。白鷹町の印象を聞かれると、「景色がきれい」「空気がおいしい」などと笑顔で応え、

対面式では少し緊張気味だった生徒たちも、1泊2日を通してすっかり打ち解け、最後には別れを惜しむ場面も。民泊先の佐藤良司さん（白鷹ツーリズム推進協議会会長）は「白鷹町をもう一つのふるさとにしてほしい。そして、大人になつたときにもう一度思い返してほしい」と言葉を贈り、生徒たちは「また白鷹に来ます」と笑顔で手を振りながらお別れしました。



1_白鷹町の自然と人の温かさに触れ、充実したひとときを過ごした 2_紅花畑での杭打ち。力のいる作業に「部活より大変」と苦しい 3_民泊先での味噌作り体験の様子。完成した味噌は来年訪れる生徒たちが味わう 4_固く握手を交わし、笑顔でお別れ 5_晴れ渡る空の下での畑仕事に「気持ちいい」と笑顔を見せる生徒たち。土の中から顔を出す虫に悲鳴を上げる場面も

より安心安全な住みよい町を目指して 買い物支援の実証実験がスタート

5月26日、買い物環境充実に実証実験の1つである御用聞き事業がスタートしました。

これは、町の買い物環境の充実と商業機能の維持、そして高齢者世帯の見守りを目的としたもの。高齢者を構成されている世帯（蚕桑地区限定）の希望者を対象として、実施事業者であるえんどう商店さんに食料品などの配達と安否確認を行っていただきます。

このほか、買い物物が困難な地域の買い物環境を維持・強化することを目的とした移動販売支援事業と、買い物等の移動手段としてデマンドタクシーを利用する方へポイントで還元する買い物ポイントサービス事業も実施しています。

このほか、買い物物が困難な地域の買い物環境を維持・強化することを目的とした移動販売支援事業と、買い物等の移動手段としてデマンドタクシーを利用する方へポイントで還元する買い物ポイントサービス事業も実施しています。

このほか、買い物物が困難な地域の買い物環境を維持・強化することを目的とした移動販売支援事業と、買い物等の移動手段としてデマンドタクシーを利用する方へポイントで還元する買い物ポイントサービス事業も実施しています。



1_佐藤町長からステッカーを受け取る遠藤晴海さん（左）と奈津子さん（中央） 2_高齢者世帯に、必要とする品と安心をお届けします

なお、事業について詳しくは商工観光課商工振興係（☎87-0696）まで。